

報道関係者各位

フツパー、現場向け安全管理AIプラットフォーム「OwloX」の先行提供を開始

～ 建設・製造・プラント・物流の不安全行動を既設／新設カメラ×AIでリアルタイムに検知 ～

現場向けAIソリューションを提供する株式会社フツパー（本社：大阪市淀川区、代表取締役社長CEO：大西洋、以下「当社」）は、建設・製造・プラント・物流をはじめとする幅広い現場における労働災害の低減と安全管理の高度化を目指し、現場向け安全管理AIプラットフォーム「OwloX」の先行提供を、2026年10月1日より開始いたしました。

本プラットフォームは、当社が製造業の現場で培ったAI開発知見を、建設・物流・製造など多様な業界の安全管理に展開するものです。現場に設置済みの既設カメラ、または新たに設置する新設カメラと連携し、映像取得からAI検知・通知までを一気通貫で実装できることが特長です。



■ 背景：多くの現場が直面する「安全管理」と「データ分断」の二重課題

厚生労働省によると、2025年の労働災害による死亡者数は700人と過去最少となった一方、休業4日以上 の死傷者数は135,333人と前年からほぼ横ばいで推移しています。事故の型別では、死亡災害の上位を「墜落・転落」（186人）、「はさまれ・巻き込まれ」（117人）が占めており、現場の不安全行動や危険箇所への接近に起因する災害は依然として後を絶ちません。

（出典：厚生労働省「令和7年の労働災害発生状況を公表」）

さらに、建設・製造・物流などの現場では、深刻な人手不足と就業者の高齢化が進行する一方、フルハーネス義務

化や働き方改革関連法（時間外労働上限規制）など、安全・労働環境に関する法規制の強化が続いています。労働災害ゼロの実現と現場生産性の両立は、業界を問わず共通の社会的責任となっており、安全管理水準の向上は企業価値に直結する経営課題となりつつあります。

しかしながら、現場の安全管理には依然として根深い課題が残されています。

- ・ 危険行動の検知が管理者・作業員の目視に依存し、人的限界がある
- ・ 多くの危険は記録された後でしか分析できず、事後対応にとどまる
- ・ 一現場・一拠点単独ではAI学習に必要なデータ量・多様性が確保できない
- ・ 危険検知技術が個別開発・縦割り化しやすく、業界横断での標準化が進まない
- ・ 中小規模の現場・拠点では、導入コストや運用負荷が導入の壁となる

これらの課題は、特定の企業や特定の現場単独で解決することが難しく、業界横断でのデータ集約・知見共有・AI開発が不可欠です。

■「OwloX（オウルクス）」の概要

OwloXは、現場のカメラ映像をAIが解析し、不安全行動をリアルタイムに自動検知する安全管理AIプラットフォームです。当社が製造業向けAIの提供を通じて培ってきたリアルタイム画像認識・映像解析の開発知見を活かし、業界横断で活用可能な安全管理基盤の構築を目指しています。

各種ネットワークカメラとの連携に対応しており、既設カメラを活かした導入から、新設カメラを含めた環境構築まで、現場の状況に合わせてご活用いただけます。検知結果はダッシュボードでの確認に加え、メール・グループチャット・現場アラート機器への通知が可能です。



【主な検知項目（順次拡充予定）】

- ・ **ハーネスフック未使用**：高所作業時のフック未使用を検知
- ・ **PPE未着用**：ヘルメット・保護具などの未着用を検知
- ・ **重機との近接**：重機と作業員の接触リスクを検知
- ・ **吊り荷配下への侵入**：クレーン作業時の吊り荷下への立ち入りを検知

- ・ **開口部／縁辺への接近**：墜落・転落リスクのあるエリアへの接近を検知
- ・ **立入禁止区画への侵入**：設定した危険エリア・立入禁止区画への侵入を検知
- ・ **車両の不安全運転**：工場・倉庫・構内での車両の危険な運転を検知
- ・ **火気異常**：炎・煙など火気に関する異常を検知
- ・ **不安全環境の自動指摘**：資材の散乱や手すりの欠損など、現場環境に潜むリスクを自動で指摘

※上記は対応予定の項目を含みます。現場ニーズに合わせて、検知項目を今後も順次拡充していく予定です。

サービス詳細ページ	https://hutzper.com/owlox/
サービス紹介動画	https://youtu.be/uU-qSUKMu6M

■ 先行提供の位置づけと提供範囲

今回の先行提供は、建設・製造・物流などの現場で実際にプラットフォームをご活用いただきながら、機能拡充とAI精度向上を進めることを目的としています。先行提供期間中は、機能の一部を限定的にご提供し、ご参画いただく企業の皆さまと共に検証・改善を重ねてまいります。

本先行提供への参画は、建設・製造・物流をはじめ、現場の安全管理にAI活用を検討されている企業を対象としています。詳細はお問い合わせ窓口までご連絡ください。

[＜問い合わせ・資料ダウンロード＞](#)

■ 今後の展望

当社は先行提供に参画いただく各社との共創を通じて、検知項目の拡充、AI検知精度の向上、業界横断データ基盤の整備に取り組んでまいります。中長期的には、AIエージェントによる安全管理業務の高度化、視覚言語モデル（VLM）やワールドモデルを活用した不安全リスクのシミュレーション、LLMを基盤とした現場向けドキュメント管理など、「検知」から「予測」「未然防止」へと安全管理の在り方を進化させていくことを目指しています。

製造業の品質管理AI領域で培った「現場で実用に耐えるAIを、粘り強く現場に届ける」という当社の事業姿勢を、建設・物流をはじめとする幅広い業界においても展開し、日本の現場の安全と生産性向上に貢献してまいります。

■ 株式会社フツパーについて

当社は「最新テクノロジーを確かな労働力に」をミッションに掲げ、製造業を中心とした現場のAI実装を支援するスタートアップです。外観検査AI「メキキバイト」、人員配置最適化AI「スキルパズル」、ローカルLLM「ラクラグ」、研究開発向けAIエージェント「リアラボAI」、受託AI開発「カスタムHutzper AI」、現場向け安全管理AI「OwloX」を提供しており、製造業出身者を中心とした現場主義の開発・伴走支援を強みとしています。2025年に東証グロース市場へ上場（証券コード：478A）。

会社名	株式会社フツパー（Hutzper Inc.）
代表者	代表取締役社長CEO 大西 洋
所在地	大阪府大阪市淀川区西中島 1 丁目11番16号 新大阪CSPビル北館 4 階
設立	2020年 4 月 1 日
証券コード	東京証券取引所 グロース市場（証券コード：478A）
事業内容	製造業を中心とした現場向けAIソリューションの開発・提供
URL	https://hutzper.com/

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社フツパー IR担当：岩岡

E-mail：ir@hutzper.com